

『Boys be ambitious ～「新渡戸の夢」～』

2022 年 12 月 29 日 筆者のブログを読まれた『「新渡戸の夢」映画製作委員』の並木秀夫氏から【北大博物館で撮った写真を添付いたします。Boys Be ambitious の大学としての解釈のようです。】(画像)、また、札幌農学校の一期生の子孫の大島正伸先生(金沢大学教授)からは、【『われ 21 世紀の新渡戸とならん』出版 20 周年を迎えられるとのこと、おめでとうございます。時間の早さを感じます。2026 年の北大創基 150 年を前に、北大では色々な準備がされているようですが、最近になって大島正健の卒業証書が出てきたという話を聞いた所です。札幌農学校の歴史もとても興味深いです。】との心温まる励ましの貴重なメールを頂いた。2003 年 お茶の水の東京ガーデンパレスで、筆者の順天堂大学教授就任を兼ねての「『われ 21 世紀の新渡戸とならん』出版記念シンポジウム」に、大島正伸先生の今は亡きお父様が出席されたことが鮮明に蘇ってきた。年末に、神奈川県海老名市のお父様の家での会食に wife と行ったことが、忘れ得ぬ思い出である。

『われ 21 世紀の新渡戸とならん』(イーグレープ)は、2003 年に発行された。2023 年は『われ 21 世紀の新渡戸とならん』出版 20 周年記念である。筆者の幼い時、強い印象を与えた言葉は『ボーイズ・ビー・アンビシャス (boys be ambitious)』である。札幌農学校を率いたウィリアム・クラーク(1826-1886)が、「その地を去るに臨んで、馬上から学生に向かって叫んだ言葉」と、札幌農学校の一期生大島正健のお孫様(大島正伸先生のお父様)から伺ったものである。クラーク精神が内村鑑三(1861-1930)、新渡戸稲造(1862-1933)、南原繁(1889-1974)、矢内原忠雄(1893-1961)を生んだ。『人生の不連続の連続性』を実感する。

2022 年 12 月 29 日 wife が東久留米市の落合川の写真を撮ってくれた(画像)。鳥の姿に大いに心が癒された。2022 年 12 月 30 日は、アメリカから来日されたご夫婦、wife と 4 人で、東久留米駅前にあるインドの友人の「East Side Café(イーストサイドカフェ)」で昼食である。筆者は毎月「East Side Café」で、新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読む読書会を行なっている。

クラーク博士

Boys, be ambitious 北大の解釈
1915年サンフランシスコ万博に配布した「北大略史」

"Boys be ambitious !" Be ambitious not for money or for selfish aggrandizement, not for that evanescent things which men call fame. Be ambitious for knowledge, for righteousness, and for the uplift of your people. Be ambitious for the attainment of all that a man ought to be.

青年よ大志を抱け！金銭や私利私欲や人が名声と呼ぶはかないものに対して野心的であれというのではなく、知識や正義や人々の向上に尽くすために大志を抱け。そして、人としてのあるべき完成された姿に到達できるように、青年よ大志を抱け。

当時の風潮の立身出世ではなく、知識・正義・奉仕・人格の完成を大志の目標とした教育精神をここに見ることが出来る。



